

平成 21 年度

事業計画書

財団法人 浜松国際交流協会

## 平成 21 年度事業計画

### 背景

浜松市は、1990 年の入管法改正以来、日系人を中心としたブラジル人、ペルー人が多く定住し、全国一ブラジル人登録者数の多いまちとして、外国人住民との共生のまちづくりを推進してきた。

しかし、2008 年の秋以降、サブプライムローン問題に端を発した世界同時不況の中、浜松地域においても、多くの外国人労働者が職を失うなど、外国人住民の生活の安定は先行きが不透明になっている。

失職した外国人の多くは単純労働の非熟練工であったため、専門的な技術を持たず、さらに日本語能力が乏しいため日本人とのコミュニケーションができず、再就職が難しい状況にある。

こうした中、帰国する外国人もいるが、多くは帰国ではなく日本にとどまる選択をす

彼らが日本社会で安定した生活を営んでいくためには、より大きな国策レベルでの施策が必要なのは言うまでもないが、浜松市においてもより実効的な在住外国人支援策が求められている。

このような動きの中、浜松国際交流協会においては、外国人市民のための総合相談窓口として、ハローワーク浜松や労働基準監督署などと連携したワンストップ相談コーナーを設置し、求職者のための日本語教室の開設、実態調査なども行っている。

いずれにしても当協会を取り巻く環境は、世界的な不況のあおりを受け、一層厳しいものとなっているが、国、県、市をはじめ様々な機関との連携のもと、浜松国際交流協会の特性を生かした、先駆的な事業への取組みが求められている。

## HICE の平成 21 年度事業の方針

以上のような社会的・時代的背景をふまえ、本協会においてはより実効性のある多文化共生事業を展開していく。具体的には「在住外国人支援」「国際理解・交流の推進」「国際ボランティア・市民活動の支援」「情報提供」の4つの柱をもうけ、事業に取り組む。

その中でも、重点分野として外国人支援のさらなる充実のために、日本語学習環境整備を文化庁からの委嘱事業を中心に行う。また、ハローワーク求職相談や入国管理局インフォメーションコーナーなどの併設も受け、外国人に関わる相談体制の整備についてワンストップセンターとしての機能を充実させる。さらに、次世代を担う子どもたちの教育支援として、外国人の子どもに対する支援や国際理解教育を掲げる。さらに、定住していく外国人住民と日本人住民との共生の地域づくりのための地域共生モデル事業は今後一層重要になってくると思われる。また、多言語によるホームページのポータルサイトとしての活用なども視野にいれ、情報提供の一層の充実を図る。

<b>重点分野</b>	<b>日本語学習環境整備 相談体制整備 子ども支援体制整備 国際理解教育の推進 地域共生モデル事業 情報提供の充実</b>
-------------	---

また、多文化共生社会づくりは社会の各分野との関わりの中での取り組みが必要であることと、費用対効果の増大という視点から、各機関・団体との協働を一層進めていく。例えば、文化庁からは平成 19 年度、20 年度に引き続き 2 本の委嘱事業を受託する予定である。さらに、独立行政法人国際協力機構（JICA）浜松デスクとの協力を得て国際理解教育を効果的に推進する。大学との連携としては平成 19 年度、20 年度に引き続き浜松学院大学より「多文化共生社会の構築に資する日本語教員養成プログラム」における多文化共生論を受託する。また、様々な事業において企業、ハローワークなどの関係団体、NPO などとの連携・協働をめざす。

<b>連携先</b>	<b>「国」「企業」「関連機関（JICA 等）」「大学」「NPO」</b>
------------	---------------------------------------

経営方針としては、厳しい財政状況の中、経費の削減とともにより一層事業を精査していく。会員の増強等による財政基盤の確保、当協会の特色を活かした事業の展開により、様々な機関やNPO、市民ボランティアとの協働による費用対効果の増大を目指す。

<b>経営の健全化</b>	<b>事業の精査 費用対効果の増大 関係機関との連携</b>
---------------	--

**事業内容**

(新規事業★)

**■委託事業**

<b>浜松市多文化共生センターの管理・運営（浜松市委託）</b>	
外国人市民のための生活相談 (7,476 千円) *緊急経済対策	各国語や各国文化に精通した相談員を配置し、生活相談を行う（対応言語／ポルトガル語、英語、スペイン語、中国語、タガログ語）。
求職者のための日本語教室★ (2,140 千円) *緊急経対策	文法を中心に全般的な日本語能力の向上を目指す。また、求職者のための短期集中的な日本語教室を開催。
日本語ボランティアセミナー (3,000 千円)	日本語教育にかかわるボランティアの啓発のためのセミナーを開催。
情報の収集及び提供 (1,200 千円)	情報カウンターにおいて市民からの問い合わせに答えるとともに情報の収集を行う。
地域共生モデル事業 (353 千円)	外国人集住地区において多文化共生の仕組み作りを地元住民とともにを行う。
多文化ソーシャルワーカー養成講座（336 千円）	外国人相談員や通訳などのスキルアップを中心に、多様化する外国人市民からの相談への対応の充実を図る。
国際理解推進事業 (48 千円)	浜松市 JICA デスクと連携をはかりながら、市内の小中高等学校及び社会教育の現場へ出前講座を行う。

**その他浜松市からの委託事業**

地域日本語教室支援事業★ (630 千円)	浜松市内の各地域の国際交流協会に日本語教室を委託する。
中国残留邦人支援事業 (1,166 千円)	中国語のできる支援相談員を市内の各区役所に配置し、相談を行う。

**浜松学院大学からの委託事業**

多文化共生論・連続公開講座 (1,264 千円)	文部科学省委託事業「多文化共生社会の構築に資する日本語教員養成プログラム」の中の多文化共生論・連続公開講座を受託。多文化共生に関して全国レベルで活躍している第一人者の講演会を行う。
-----------------------------	--

## ■HICE 事業

1 在住外国人支援		
分野	事業名	内容
1) 日本語教室	はじめての日本語 (55 千円)	ひらがな、カタカナ、漢字クラスに分かれ、読み書き能力の習得をめざす。
	すぐに使える！日本語会話 (907 千円)	日本語会話能力の初級から中級者を対象に、会話力の向上をめざす。
2) 日本語学習環境整備	バイリンガル日本語教師養成講座 (1,310 千円)	日本語能力を有する外国人を日本語教師として養成する。 *文化庁委託事業予定
	日系人等を活用した日本語教室の設置運営(2,368 千円)	バイリンガル日本語教師など、日系人等の外国人を講師とした日本語教室を実施。 *文化庁委託事業予定
2) 相談	法律無料相談会 (55 千円)	静岡県弁護士会の協力のもと、弁護士による多言語通訳つきの相談会を実施。
3) 子ども支援	外国籍児童就学前教室 (114 千円)	日本の小学校に進学する予定の外国籍児童を対象にした学校体験教室。
	外国人青少年のための就活セミナー (14 千円)	外国人青少年を対象とした、日本における就職のためのマナーや心構えなどの講習会。ハローワークと連携。
4) 企業コーディネート	企業コーディネーター (10 千円)	日本語教室や外国語教室、国際理解教育などを企業において行うコーディネーターを行う。

2 国際理解・交流の推進		
分野	事業名	内容
1) 国際理解教育	アースカレッジ in 浜松★	JICA 中部及び静岡県国際交流協会との共催で国際理解教育のセミナーを開催。
	多文化教育ファシリテーター養成講座★ (1,200 千円)	自治体国際化協会からの助成により、在住外国人が多文化教育の推進者となるよう養成する。
	西遠インターアクトクラブ (60 千円)	浜松ロータリー・インターアクト委員会から委託を受け、国際理解のための活動を開催。
2) 外国語講座	国際理解のための英会話教室	前半は、「英語で学ぼう！海外ポップカルチャー」と題して行う。
	英語で話してみよう会 (126 千円)	様々な国の人をゲストに招き、毎回テーマを決めて国際共通語である英語で会話を楽しみながらゲストの国を知り、交流を深める。

	国際交流のためのポルトガル語講座 (620 千円)	ブラジル人市民の多い浜松において需要の高いポルトガル語講座を開催。
	国際交流のための中国語講座 (91 千円)	ブラジル人に次いで多い中国人市民との交流をめざした中国語講座。
	国際交流のためのスペイン語講座 (91 千円)	ペルー人市民が多く、根強い人気のあるスペイン語講座を開催。
	国際交流のための韓国語講座 (91 千円)	定番となった韓国文化を学ぶための韓国語講座。
	言葉を通して学ぶ初めての国★ (22 千円)	タガログ語（フィリピン）やベトナム語、インドネシア語など言語を通してその国を学ぶ講座を開催。
3) 交流イベント	異文化わくわく街めぐりツアー (22 千円)	市内中心部にあるエスニックレストランや雑貨店などをめぐり、多文化共生のまちを実感し、理解を促す。
	わくわくバスツアー (328 千円)	在住外国人と日本人市民の交流を目的としたバスツアー（会員限定）
	ホームステイコーディネート (12 千円)	浜松市内で開催される国際的なイベントや会議において必要とされるホームステイをHICE ボランティアバンクを活用して行う。

3 国際ボランティア・市民活動の支援		
分野	事業名	内容
1) 日本語ボランティア養成	日本語ボランティアのためのガイダンス (19 千円)	日本語を教えるボランティアを目指す人を対象に行うガイダンス。
	日本語ボランティア養成講座 (225 千円)	日本語を教えるボランティアを目指す人を対象に、日本語教授法など必要な知識及び技術を講義する。
	日本語ボランティアスキルアップ講座 (9 千円)	すでに日本語を教えているボランティアを対象にスキルアップを目指す講座。
	シニアから始める日本語ボランティア (89 千円)	シニア世代を対象に日本語ボランティアや子どもたちの学習支援ボランティアとして活躍してもらうことをねらいとした講座。

2) ボランティア	ボランティアバンクの運営 (50 千円)	ホームステイ、通訳・翻訳、情報提供など様々な分野でボランティア活用を行う。
	ボランティア研修・交流会 (10 千円)	各分野ごとにボランティア研修を行い、またボランティアどうしの交流会を行う。
3) 国際交流活動支援	HICE 助成金 (7,900 千円)	浜松市内で活動する国際交流関係団体等に対して行う助成金。

4 情報提供		
分野	事業名	内容
1) 情報の発信	機関紙 HICE NEWS の発行 (3,010 千円)	HICE の活動や国際交流に関する情報を提供する情報誌を発行 (日本語、ポルトガル語、英語)。
	CIR NEWS の配信	国際交流員 (C I R) による、国際理解のためのメールマガジン。英語と日本語の併記で会員対象に配信。
	ホームページ運営 (31 千円)	多言語情報ツールとしてのホームページ運用について検討する。
	情報コーナー (5 千円)	コミュニケーションボードやパンフレットスタンドの設置を行う。
2) 海外情報提供	海外体験フェア (20 千円)	留学や海外ボランティアなどの情報を提供。賛助会員の協力を得て行う。
3) ラジオ	ラジオ番組作成 (5 千円)	ポルトガル語・日本語のバイリンガル対応のラジオ番組作成・運営について支援する。
4) 図書	図書コーナー (10 千円)	国際交流、多文化共生、国際協力、国際理解などのテーマに関する図書の収集と貸し出しを行う。